

「尊厳」を認識し、職員は業務に当たるよう

◆国分寺市男女平等推進第3次行動計画の策定にあたり、2024年4月1日施行の「改正DV法」「困難女性支援法」に関する内容についても計画に盛り込み、一体的に取り組むようにすべき。
答) 新法等、基本計画での取り扱いについては包含するか否か含めて関係機関と情報共有を図り、近隣市の動向等勘案して取り組みたい。◆市のパートナーシップ制度 現在の利用状況。世田谷区のような独自施策拡大を。
答) 11組の方が利用し都の制度開始後も2組利用あり。サービス拡大については当事者の意見も大事に研究していきたい。◆「すべての人を大切にすまち宣言」市民の「尊厳」を守るための事業一

覧がHPに示されている。(主に相談事業) その位置づけは？職員は尊厳を認識し業務にあたるように。
答) 宣言を踏まえ具現化、見える化した。宣言を意識し業務に当たっているとの認識だ。◆子どもの発達支援センターつくしんぼの相談支援業務の民間委託について心配、懸念の声がある。質の低下を招くことがないよう約束せよ。
答) これまで大事にしてきたことを仕様書に盛り込み、安心して利用できるよう環境整備する。◆60歳以上の高齢者が体育施設等利用できる使用料減免制度「オパール会員」は、フレイル予防としても重要な制度だが周知不足ではないか。
答) 年1回の市報掲載以外の周知を検討する。

立憲・市民フォーラム
皆川 りうこ



◆プラ廃棄物、製品プラの一括回収は有料化の結論ありきの日程で審議会も3回のみ。リサイクル協力店も減少しているのは問題。
答) プラ新法施行に伴い一括回収し分別収集実施。資源化や循環型社会の形成に有効で早期対応したい。◆新庁舎移転に伴う光プラザ等の空室を多様な学び、子どもの居場等活動している団体の使用を可能にし、使用基準等は市民参加で策定を。
答) 関係課との調整や情報共有していきたい。◆国分寺駅北口広場周辺の道路の安全対策は？
答) 安全確保のためカーブミラーを設置する。

子どもたちのボール遊び水のPFAS問題

☆「戸倉公園」をボール遊びのできる場に
星) 都市計画公園「戸倉公園」(来年6月着工予定)を「子どもたちがボール遊びのできる場」と求め続けている。しかし、「難しい」との市答弁が繰り返されている。理由の説明を。
市) 特に騒音対策を考えるとボール遊びの施設設置は難しいと考えている。
星) そもそも市は必要性をどのように考えているのか。
市) そうした場所があるとよいと思う。事例視察や対策を研究している。
星) その研究をいつ、どこで活かすのか。
市) ボール遊びのできる公園というのは、まわ

りの環境の問題が非常に重要なことである。今後、様々な課題がクリアできる場所の確保ができたときに計画していきたい。
星) 地域の現実の声を訴えている。諦めるわけにはいかない。次の議会も質問する。
 ☆PFASの問題で市民が知りたいこと
星) 市民のみなさんから寄せいただいた質問に答えていただきたい。水道水は、いつの時期から暫定目標値を超えていたのか。
市) 東京都水道局に確認したところ「水道水における有機フッ素化合物の暫定目標値が適用されたのは令和2年4月から。これ以降、暫定目標値が適用される給水栓において超過したこと

立憲・市民フォーラム
星 いつろう



はない」との回答を得ている。
星) 多くの人々が求めている情報なのに、そうした答弁にしかならないことを残念に思う。「希望する市民に対して、有機フッ素化合物の血中濃度の検査を公費負担で行ってください」との要望を受けている。
市) 健康への影響や被害について明らかになっていないことから、現時点では市としては考えていない。国の専門家会議や都の動向・情報を収集しながら、その検討結果を踏まえて市として取り組むべきことについて対応していく。

プラ廃棄物処理について市民に丁寧に説明を

1. 新型コロナウイルス感染症対策事業について＝市としての総括をすべきであると考えがいかか？⇒担当としての蓄積や経験は事務レベルで引き継ぎたい。
 2. 保育所等について＝(1)待機児童38名(1才児のみ)の要因と対策は？⇒1才児の申し込みだけ増えた。保育所建て替えや認証から認可への変更で1才児の定員を増やす。(2)不適切保育の調査結果は？⇒虐待はないが不適切保育が1件あった。(3)保育の質の確保のためにやっていることは？⇒保育士の国基準以上の配置や基幹型保育システムによる研修、連絡会や巡回、第三者評価、地域共生推進課による指導検

査などを行っている。(4)内部向けの重大事故防止及び不適切保育未然防止の冊子をガイドラインとして外部向けに公表してほしい。
 3. 少子高齢化について＝つねに重要な課題として認識していただきたい。
 4. (仮)プラスチック廃棄物の処理について＝(1)基本方針(案)が出たが内容は？⇒国のプラ新法に対応するためプラ廃棄物の分別方法と収集方法、費用負担について審議会に諮問した。新たに収集袋を作成し費用は現在の半額程度とすることになった。(2)審議会では半額とは決定していなかったがなぜ半額になったのか？⇒市として総合的に判断した。(3)市民負担はどれ位

立憲・市民フォーラム
及川 妙子



か？⇒一世帯あたり年間20㊦袋で千円、40㊦袋で2千円増加する。リサイクル協力店の協力拡大などで市民負担軽減を考えている。(4)今回の事で1億8千万円経費が増額するがごみ・資源物の処理経費トータルでは歳入が3千万円増える。
 5. 先生の働き方改革について＝(1)先生の在校時間の国の調査結果が出たが当市では？⇒国より短い。(2)国は平成28年に比べて30分程度減っているが当市では？⇒30分以上縮小している。(3)在校時間短縮の取り組み？⇒出退勤時間の管理、校務支援、集金の口座振込、閉庁日の拡充など。

平時から地域で顔の見える関係づくりを！

◆防災対策(問)在宅避難のためにも建物の耐震化促進が重要。木造住宅だけではなくマンションも対象に耐震化支援事業を行うべき(市)他市の助成内容を研究する※耐震化だけではなくバリアフリーや断熱など様々な補助金がある。関係各課が連携しリフォームに使える補助金という視点でのわかりやすい周知を要望(問)避難行動要支援者登録制度について(市)身体障害者手帳1級・2級の方などは自動登録、そのほか災害発生時に避難支援を必要とする方の登録は手挙げ方式。登録者数は昨年度末時点で2,218名(問)個別避難計画の策定状況は(市)人工呼吸器使用の方は作成中。その他は防災安

全課と健康部、福祉部が連携し効率的な作成方法について検討中※先進事例の研究や都と連携しできるだけ早い計画策定を要望◆PTAとコミュニティ・スクールについて。PTA改革が急速に進み学校と子どもを地域で支える仕組みを構築することは喫緊の課題。認識を伺う(教育長)保護者や地域を含めた新たな連携の在り方について改めて考える時期。コミュニティ・スクールの全校導入に向け取り組む◆特別支援教育について。二小わかば学級在籍児童数は2008年度既に22名。教室不足の課題を検討する際に特別支援学級の環境整備も考慮するべきだったと考える(市)特別支援学級児童数の将来推計が難

国分寺・生活者ネットワーク
小坂 まさ代



しい状況の中、市教委と学校とが通常学級数や特別支援学級数の情報を共有し適宜協議、検討や工夫を重ね適切な学習環境の確保に努めてきた(問)就学相談体制について(市)相談員10名、統括する主任相談員1名、教育支援担当係長1名の12名体制に拡充(問)本人や保護者との合意形成において最も重要と考える点は(教育長)子どもの健やかな成長。共感と受容。気持ちに寄り添いながらライフステージを見通し、教育的ニーズと必要な教育内容等を総合的に判断し、適切な就学先を保護者と共に考えていく。